

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年1月25日(2007.1.25)

【公表番号】特表2006-507071(P2006-507071A)

【公表日】平成18年3月2日(2006.3.2)

【年通号数】公開・登録公報2006-009

【出願番号】特願2004-554814(P2004-554814)

【国際特許分類】

A 61 B 5/055 (2006.01)

【F I】

A 61 B 5/05 3 1 1

A 61 B 5/05 3 7 6

【手続補正書】

【提出日】平成18年11月20日(2006.11.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

受信アンテナによって捕捉された複数の信号から対象の画像を形成し、前記各受信アンテナの感度マップが与えられ、適用される符号化ステップの数はその完全な集合に対して減少される、磁気共鳴撮像方法であって、

前記視野は、エンコード方向上、対象の寸法よりも小さく設定され、前記受信アンテナの感度マップ及び内在折り返しアーティファクトを示す参照画像は前記MR画像を展開された画像へ再構成するのに用いられることを特徴とする、磁気共鳴撮像方法。

【請求項2】

前記展開された画像に、エッジアーティファクトを除去するエッジフィルタリングが適用されることを特徴とする、請求項1記載の方法。

【請求項3】

前記展開された画像に、リング・アーティファクトを除去するリングフィルタリングが適用されることを特徴とする、請求項2記載の方法。

【請求項4】

複数の信号からMR画像を取得する磁気共鳴装置であって、

前記対象の一部内でスピンを励起する手段と、

複数の受信アンテナと、

読み出し傾斜磁場及び他の傾斜磁場の印加によりk空間内に複数のラインを含む所定の軌跡に沿ってMR信号を測定し、前記位相エンコードステップの数はその完全な集合に対して減少される、手段と、

各受信アンテナの夫々に対して感度マップを与える手段と、

前記視野を前記対象寸法よりも小さく設定する手段と、

前記受信アンテナの感度マップ及び内在折り返しアーティファクトを示す参照画像を用いることにより、前記MR画像を前記測定されたMR信号から折り返された画像へ再構成する手段とを有する、磁気共鳴撮像装置。

【請求項5】

磁気共鳴方法により画像を形成するようコンピュータ使用可能な媒体上に格納されたコンピュータプログラムであって、

前記コンピュータに、

磁気共鳴撮像装置が複数の信号からMR画像を取得することの実行を制御させ、前記コンピュータプログラムは、

前記対象よりも小さい視野を設定し、

前記受信アンテナの感度マップ及び内在折り返しアーティファクトを示す参照画像を用いて前記MR画像を展開された画像へ再構成する

ための命令を有する、

コンピュータ読み取り可能なプログラム手段を有する、コンピュータプログラム。。